

小田原市尊徳記念館 令和6年度 金次郎を学ぶ会 講座

神奈川県の子どもたちと 二宮金次郎像



●日時

令和6年7月14日（日）午後1時30分～3時

●会場

小田原市尊徳記念館 3階講堂

（住所：小田原市栢山 2065-1 / 電話：0465-36-2381）

●講師

小田原市尊徳記念館学芸員

※入場無料（定員100名）

校庭に佇む少年の像は、いつ何を目的に作られたのか



昭和17年、金属供出により集められた足柄上郡各小学校の金次郎像（神奈川県尊徳会『勝ち抜く方策』1943）

江戸時代後期の農政家である二宮金次郎（尊徳）は、その伝記が後世で広く読まれ、特に幼少期に関する記述が初等教育の教科書に取り上げられるようになります。勤労・勤勉・親孝行などの徳目を体現する少年、二宮金次郎は児童のお手本として各地に知られていき、やがて像の姿となって多くの小学校の校庭に現れました。

今回の講座では、薪や柴を背負って本を読む姿がシンボルとなった背景、銅像や石像として各地に置かれていった理由など、二宮金次郎像にまつわる基本的な事実を確認しつつ、金次郎の出身地である神奈川県において、どのように像が広まっていき、教育の場面でどう生かされていたかについて、昭和初期から戦中期を中心に見ていきます。

◎小田原市尊徳記念館アクセス

〒250-0852 神奈川県小田原市栢山 2065-1

電 車：小田急小田原線…栢山駅または富水駅から徒歩 15 分

自動車：東名高速道路大井松田 IC から約 10 分
小田原厚木道路小田原東 IC から約 10 分

